

プログラム名：母子保健活動に活かせる資材検討活動と県大版両親学級の開催  
 責任者：看護学部 准教授 谷地和加子  
 共同者：遠藤良仁、金谷掌子、蘇武彩加、伊藤沙織、  
 北畠めぐみ、久保田鳩子、福島裕子（看護学部）  
 猿舘睦子、佐藤美智子、藤井彩加、佐々木夏帆（滝沢市健康推進課）

### ▼事業の概要（背景・目標）

滝沢市健康推進課母子保健担当者との協働し、母子保健に活かせる資材作りを中心に活動した3年目となる。昨年度は、滝沢市健康推進課母子保健担当者との協働で作成した母子保健活動に活かせる資材のアンケート結果や動画視聴回数から評価を行った。今年度は、昨年度のアンケート結果をもとに、県大版の両親学級を開催しその評価を行った。

### ▼事業の内容（方法・経過）

1. 事業：1) 岩手県立大学版 両親学級“未来へのアーチを”の開催、2) 妊娠届時と出生届時の際にリーフレットを配布およびアンケート結果のまとめ
2. 内容：沐浴体験、妊婦体験、パパママ交流会
3. 期間：9月16日（土）10時～12時
4. 場所：母子助産実習室

### ▼事業の成果（結論・考察）

1. 県大版両親学級への参加は、上限8組の募集に対し8組が応募した。当日は、7組（14名）が参加した。
2. 沐浴体験や妊婦体験は主にパパが行った。交流会では、夫婦のコミュニケーションについてミニ講義を行い、情報交換を行った。
3. 妊娠届時リーフレットのアンケートは195部配布、出生届時リーフレットのアンケートは370部配布した。

### ▼おわりに（まとめ・今後の展開）

1. 昨年度のアンケートの自由記述から、体験会や先輩ママのリアルな声を聞きたいという要望が挙がっていた。このことから、今年度は県大版両親学級を対面で開催し、リアルな交流の場を設けた。県大版両親学級の全体的な評価やそれぞれの体験会も高評価を得ることができた。
2. 次年度に向けて、リーフレットを継続的に配布をすること、県大版両親学級の開催、SNS等情報ツール活用の検討が今後の課題である。

（謝辞）調査実施にあたり、ご協力いただいた滝沢市健康推進課に感謝致します。



図1. 県大版両親学級のチラシ



図4. 抱っこ体験をするママと見守るパパ



図5. 抱っこ体験をするパパと見守るママ



図2. パパママから相談を受けている教員



図6. 助産学生も有志で参加



図3. 沐浴をするパパを見守るママ



図7. 妊婦ジャケットを着用したパパ達

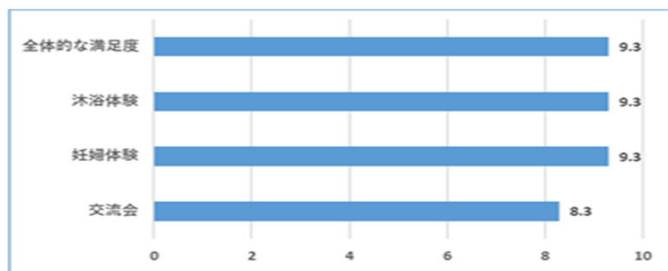


図8. 県大版両親学級のアンケート結果

本事業は、2022年度国連アカデミック・インパクト活動（原則9：持続可能性を推進する）に採択されました！  
 詳しくはこちらから ⇒

